

令和7年度「FDとしての授業相互参観推進」点検評価(短大)

東海学院大学短期大学部 教育研究開発センター

東海学院大学短期大学部では、本学学則第3条に基づき、教育活動の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を公開しています。

本学科では、「授業の内容及び方法の改善」を目的として、平成26年度以降、毎年方法を検討し改善を重ねながら、「学内一般公開型授業相互参観」を実施してきました。

令和7年度は、実施方法を一部見直し、公開期間を令和7年11月20日(木)から令和8年1月9日(金)まで(第9週～第14週)としました。参観にあたっては、「授業参観の視点」および「授業相互参観ガイドライン」をもとに実施し、授業参観者用シートと授業公開者用シートを用いて、相互の振り返りと授業改善につなげる方法としました。

この変更により、授業参観の着眼点が明確となり、教員同士の学び合いの促進と教育の質向上が期待されます。その結果、授業参観または授業公開のいずれかに9名(90%)の教員が参加し、授業公開者シートの提出率は100%となりました。

また、「授業改善に役立ったか」という問いに対しても全員が肯定的に回答しており、本取り組みが授業内容や指導方法の見直しにつながっていることがうかがえます。

今後も、教員相互の学び合いと授業改善を継続的に進め、教育の質保証と学生の学修成果向上につなげていくことが期待されます。

令和7年度FD「授業相互参観」実施状況報告表

		幼児教育
授業参観または授業公開のいずれか実施		9名/10名
		90%
授業参観	「授業参観者シート」報告者数	7名
授業公開	公開授業数	4回
	「授業公開者シート」報告者数	4名
	授業公開者の報告率	100%
授業改善に役立ったか等の回答数 (「授業公開者シート」より)		4名/4名
		100%